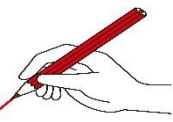


# Move Mountains

5年生通信

4月11日4号



## ○算数は「SMART」に

5年生ともなると、生活場面から離れた学習内容も増えてきます。「 $1 + 5$ 」や「 $3 \times 2$ 」の計算をしている低学年は、生活でも生かせそうであることは容易に想像できます。

しかし、現在扱うのは「 $0.14$ 」など、かなり小さな数の計算です。

これまで学習してきたことを活用し「 $0.01$ のまとまりが何個あるかで考える」「小数点をそろえてひっ算をする」など、**道筋を立てて思考する**ことが求められてきます。

「計算なんて電卓ですればいいじゃん」

その通りです。計算そのものは電卓でもできます。

しかし、今やっているのは論理的に考えたり、過去に学習したことを活用したり、粘り強く取り組んだりすることです。

だから、「算数をしている」というよりは「学び方を練習している」と考えた方がいいのです。

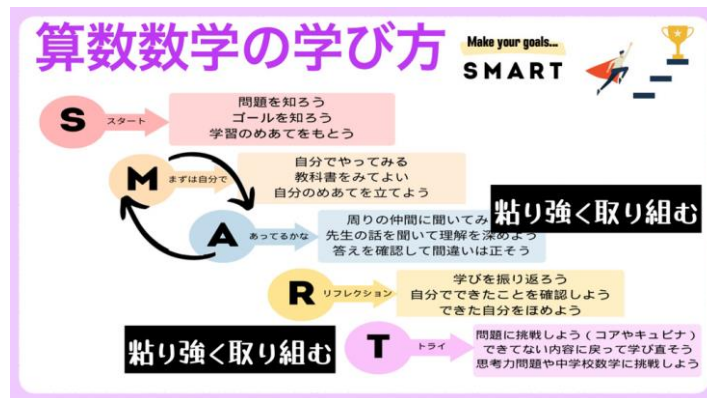
「国語」というよりは「一字一句読む」「意見をもつ」「それを人に伝える」

「社会」というよりは「世界の広さを知る」「資料の見方を学ぶ」「まとめ、表現する」

「英語」というよりは「他国の文化に触れる」「コミュニケーションの練習」

など、一歩踏み込んだことを考えていくと学習の意味が見いだせるように思います。

さて、前置きが長くなりましたが「SMART」とは



平たく言えば、自分の進度で進める学習です。

- ・教科書の説明をよく読む
- ・何度も繰り返す
- ・分からなければ聞く
- ・時間の使い方を自分で工夫する

こうした力は、他の教科にも応用できます。

まだやり始めて3日ですから、上手いかないのは当然です。

私たちも問題の出し方や、量も改善の余地があると考えています。共に授業を作っていきます。

## ○授業の様子



↑算数の時間。自分のペースで進めるので、個々で問題に取り組んでいる子もいれば、席を立てて学び合っている子もいます。

自分に合ったスタイルを見つけていきましょう、ちなみに小胎は算数・数学の学習は「個人で黙々と」しているのが好きです。



↑最後には定着度を確認。

「テスト」は点数をつけたり、成績をつけたりするものではなく、「自分は何ができて、何ができていないのか」を確かめるための手段です。



↑社会科では、日本の周辺の広がりについて学んでいます。うっとりとするような美しいノートが何冊も出ています。また紹介します。